

12月3日、中国総領事館で開催された中国人研究者の優秀論文を表彰する成果報告会に出席しました。応募論文約70件の中から13件が選ばれ後援団体より表彰状が贈られました。論文は生命科学等最先端の研究分野に関する物で、「サイエンス」等科学研究雑誌に掲載されたものも多くあり、中国人の優秀さと勉強への熱意を表わしている。主催の中国留日同学会は、1995年設立した「会員交流・社会貢献・日中友好を目指した学術団体」であり、当会とは長く交流関係を持っています。現在、会員の学位構成は博士40%、修士30%、学士30%との事で、中国や欧米で活躍している方も在籍し、大学や企業各分野で活躍されています。留日同学会の益々のご発展を祈念しています。

授賞式後、特別講演として劉毅仁総領事の「高度経済成長期における中国の夢と中日関係の展望」、日本テピア(株)劉炳義社長の「学者から経営者への歩みー脱サラ・起業・奮闘・成功の条件とは」がありました。現役学生も多く参加されており、真剣に耳を傾けていました。

17時からの第3部懇親会は、陳健君会長と李春先領事館教育室長の挨拶、日中協会白西理事長の乾杯の音頭で始まり、隔年の成果報告会の為に久しぶりに会長や各役員の方々とお会いしました。陳会長とは、より多方面での緊密な連携を築くため頻りに連絡を取り合う事を約束いたしました。更に、協賛団体会長紹介時に私の誕生日である事も明らかにされ、出席者全員に祝福され深く感謝申し上げます。

白西理事長より「日本関西温州総商会」の忘年会に誘われ、そこで牛興茂経済商務室長始め温州総商会の方々に暖かく迎え入れられ懇親を深める共に、其処でも誕生日を祝って頂きました。本年の12月3日は、大安吉日でもあり私にとって忘れられない日となりました。



陳健君会長

